

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	横田
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		実施計画事業費		<b>内線</b>	3425
<b>事務事業名</b>	4186 観光・誘客宣伝事業											
<b>所 属</b>	150300 産業振興部・商業観光課											
<b>施 策</b>	05042600 観光産業の振興											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	070103 商工費・商工費・観光費										
	<b>事業</b>	020000 観光・誘客宣伝事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
観光の振興を行い、多くの観光客が訪れることにより、須坂市の活性化を図る。						須坂市を多くの人に知っていただくためのプロモーション活動、シティーセールス活動により、多くのお客様に須坂市を訪れていただき、また、繰り返し訪れていただくために、市外、県外に向かって広く情報を発信、PRする。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。 H29信州DCに向けた観光誘客の方策を検討する。
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	観光案内所の観光客利用者数				
算式	観光協会窓口での観光案内数+交流センター入館者数-交流センター多目的ホール利用者数				
単位	人				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	23,500	23,750	24,000	24,250	24,500
実績					
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる。				
最終年度目標の根拠	平成27年度23,300人に対し年間1,200人増を目指す。				
指標名					
算式					
単位					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
単位					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		19,542	41,116
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	197	0
	地方債	0	0
	その他	5	0
一般財源		19,340	41,116
人員数(人)	正規職員	1.6	1.6
	嘱託職員	0.4	0.4
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	11,532.8	11,532.8
	嘱託職員	1,082.0	1,082.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,614.8	12,614.8
市民一人当たりの経費		0.6	1.0
総額		32,156.8	53,730.8

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	賞揚費
11節 需用費	3,048	消耗品、印刷製本
13節 委託費	100	観光写真撮影委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,381	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	2,003	旅費 513 役務費 1,378 使用料及び賃借料 108 公務費 12

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	
11節 需用費	2,127	消耗品費、燃料費、印刷製本費
13節 委託費	22,100	観光案内誘客業務委託、観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）、観光写真撮影委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,513	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	2,366	役務費（広告料）等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	重点プロジェクトである交流人口の増加には観光誘客事業が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	目標に達していない。（H27：目標：26,000人→実績：23,313人）	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	重点プロジェクトである交流人口の増加には観光誘客事業が必要である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
指標の目標に達しなかったが、前年度を上回った。（H26：19,299人、H27：23,313人）

**ACTION**

**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
米子大瀑布の注目度の高まり、「山の日」の新設、信州デスティネーションキャンペーン実施などにより山岳観光をメインとした観光商品の企画、また須高広域プロモーション事業とも連携し、観光協会と協力し更なる誘客対策を図る。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
「山の日」、「信州山の日」、また、H29に実施される信州デスティネーションキャンペーンにおける、山岳観光をメインとした観光商品の企画や実施が求められる。また、須高広域で行うプロモーション事業と連携し誘客を行う。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	